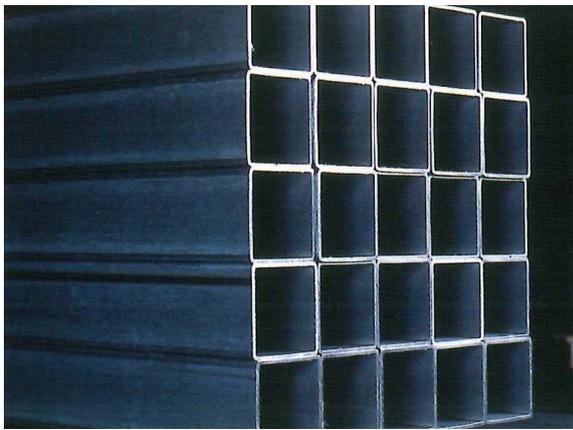


## PIPE LINEUP

### 商品のご案内

## 一般構造用角形鋼管 STKR JIS G 3466



閉鎖断面をもっておりますので、ねじれ・衝撃・曲げ・圧縮等の性能が優れており、構造体として最適です。  
閉鎖断面で表面がフラットであるため、加工性が良く、部材との接合が容易にできます。  
角形鋼管は卓越した造管技術で、常に安定した形状と精度の高い製品を保証いたします。

※オフラインでの切断加工も行っております。

## JIS G 3466

### ■ 機械的性質

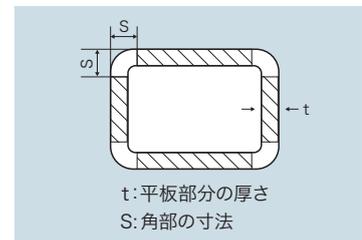
種類の記号	引張試験		
	引張強さ	降伏点又は耐力	伸び%
	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	5号試験片
STKR 400	400以上	245以上	23以上
STKR 490	490以上	325以上	23以上

【備考】

厚さ8mm未満の角形鋼管の伸びの最小値は、厚さ1mmを減ずるごとに伸びの値から1.5%減じたものを、JIS Z 8401（数値の丸め方）により整数値に丸める。

### ■ 寸法の許容差

項目及び寸法の区分		JIS規格
辺の長さ	100mm以下	±1.5mm
	100mmを越えるもの	±1.5%
各辺の平板部分の凹凸	辺の長さ100mm以下	0.5mm以下
	辺の長さ100mmを越えるもの	辺の長さの0.5%以下
隣り合った平板部分のなす角度		±1.5°
角部の寸法: S		3t以下
長さ		0~+規定せず
曲がり		全長の0.3%以下
平板部のねじれ		—
厚さ	3mm未満	±0.3mm
	3mm以上	±10%
管端切断面(反対側切断面より直角にみて)		—



【備考】

1. 平板部分とは、図に示す斜線部分をいいます。
2. 角部の寸法の許容差については、注文者と製造業者との協定により変更することができます。
3. 曲がりの許容差は、上下、左右の大曲がりに適用します。
4. 厚さの許容差は、平板部分について適用します。
5. 表よりシビアなものを必要とする場合はあらかじめご相談ください。また、精密切断にも応じます。

## 製造可能範囲

サイズ \ 板厚	1.6	2.3	3.2	4.5	6.0
45×45	■	■			
60×30	■	■	■		
50×50	■	■	■		
60×60	■	■	■		
75×45	■	■	■		
75×75	■	■	■	■	
100×50	■	■	■	■	
90×90		■	■	■	■
100×100		■	■	■	■
125×75		■	■	■	■
150×50		■	■	■	
125×125			■	■	■
150×100			■	■	■
150×75			■	■	■
150×150			■	■	■
200×100			■	■	■

※ 上記以外のサイズも別途ご相談下さい。